

06 漁業・水産業

基本情報



【年齢】
19歳
【出身地】
北海道北広島市
【転出元】
北海道北広島市
【前職】
学生
【活動時期】
R3.5.1～R5.4.30
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

将来漁業に携わる仕事がしたいと思っていたところに、高校の先生と奥尻町役場の水産担当の方から地域おこし協力隊の情報を教えていただき、奥尻町の地域おこし協力隊に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

協力隊の活動が順調に進んでいるので、残りの時間も悔いのないように活動していきたいです。任期終了後は奥尻島で漁師をやろうと思っており、協力隊の活動で取得した知識や経験を活かしながら、漁師として活動していきたいです。

活動内容

●漁師について研修中

任期終了後は奥尻島で漁師をやろうと思っており、現在それに向けて地元の現役漁師さんの所で漁法や漁具の作り方を学び、任期終了後に漁師として活動できるように研修を行っています。他に、鹿部町にある北海道立漁業研修所に入学し、漁師に必要な免許などを取得してきました。



●水産に関する業務

海洋に関する調査や、種苗の放流など水産に関する業務をしています。



●SNSを使った情報発信

Instagramを中心に、SNSを使って奥尻島の観光地やイベントなどに実際に行き、写真や動画を撮影し、現地に行ってみての感想と紹介を付けて投稿しています。

okushiri_chiikiokoshi ◊ ⊕ ☰

 59 投稿
453 フォロワー
217 フォロー中

奥尻町 地域おこし協力隊
奥尻町地域おこし協力隊です！僕が実際に足を運んで、奥尻島の良い所をジャンジャン！投稿していきますので！フォローして覗いてみてください！

プロフィールを編集 〇

連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(Instagram) https://www.instagram.com/okushiri_chiikiokoshi

基本情報



【年齢】
24歳
【出身地】
埼玉県坂戸市
【転出元】
静岡県静岡市清水区
【前職】
水産食品の卸売り
【活動時期】
R4.3～

協力隊に応募したきっかけ

- ・幼少期から川や魚が好きで自分にとって、魚の飼育や加工、販売に携われる「内水面漁業の振興」という活動内容がとても魅力的に感じたため。
- ・今まであまり関わりのなかった土地で、今の自分に何ができるか挑戦してみたいため。
- ・都市部よりも地方に住む方が自分に合っていると感じていたため。
- ・地方移住が昨今のブームとなっている理由が何なのかを身をもって知りたかったため。

今後の抱負・任期後の目標

- ・1年目までに毎年廃棄されている採卵後のヤマメを活用した「揚げかまぼこ&すり身」の開発・加工によって、奥多摩の新たな特産品を確立させる。2年目以降は新たな商品を開発する。
- ・町内外の漁協や養殖業者が育てた川魚を食べられるイベントを企画し、開催する。
- ・任期後も奥多摩の魚を活用した商品開発やイベント開催、その他新たな試みを町内で継続し、漁業の視点から奥多摩を盛り上げる。

活動内容

● 飼育池の管理

出勤している日はほぼ毎日、町内の小河内漁協の飼育池にて、ヤマメやイワナなどの飼育管理をしています。主な内容は給餌と池の掃除ですが、釣場や飲食店から注文が入れば、出荷作業も行います。魚のへい死率を減らすために、水温や泳ぎ方、エサの食べ具合を確認しながら大切に育てています。



● 河川で渓流魚の放流

禁漁の期間中には稚魚、渓流釣りの解禁日や夏の釣り客が多く訪れる夏には成魚を放流します。現在は年に数えるほどしか放流を行っていませんが、釣り客をさらに誘致するために、夏の期間は放流の頻度を月に2回程度に増やし、HPやSNSで発信しようと考えています。



● 魚の加工・販売

奥多摩のブランド品である“奥多摩やまめ”のフィレや燻製などの食品の加工をお手伝いしています。また、今後は町内に新たなお土産・特産品を商品化すべく、採卵後のヤマメを活用した新商品の加工や販売活動(パッケージデザイン作成・イベントで出店など)を行っていきます。



奥多摩やまめ

連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(Twitter) https://twitter.com/okutama_osakana

基本情報

【年齢】
48歳
【出身地】
兵庫県姫路市
【転出元】
兵庫県姫路市
【前職】
製造業
【活動時期】
R2.10.1～R6.3.31
(3年目)



協力隊に応募したきっかけ

前職では、蛍光灯や給湯器、オートバイ部品など製造に関する仕事をしていましたが、激務で体調を崩すなどしており、この先どう働いていこうかと考えていた。最後の会社を辞めると決めたころに、Facebookで継業バンクの募集記事を見つけ、「これは僕のためにある仕事だ」と思い、すぐに応募を決めた。10年ほど毎週のように溪流釣りを楽しんでおり、美作市には何度か訪れる中でいい印象もあったことから、移り住むことに何も抵抗はなかった。

今後の抱負・任期後の目標

今後の抱負

- ・他の養魚場へ研修に行き、生産効率の向上を目指す。
- ・右手養魚センターを広く宣伝し、販売促進活動を行う。
- ・インターネット等を活用し、新販路の開拓を行う。

任期後の目標

- ・後継者となり、地域の行事等の盛り上げに取り組む。
- ・市全体の産業の発展のために市内全域で連携を強化する。
- ・後継者を育成して、将来へバトンを繋ぐ。

活動内容

●譲る人と受け継ぐ人

事業を譲る右手さん（写真左）と事業を受け継ぐ宇都宮さん（写真右）。協力隊の任期を通して、基礎から技術を学び、事業承継に向けて準備を進めている。



●魚の育成

魚の様子を見ながら、餌の量を調整するのも大事な仕事。育てる人によって魚は変わると言われている。



●魚の選別

養魚池の数が限られており、生育と生産量のバランスを取るため、大きさや色をチェックし、アマゴの選別をする宇都宮隊員。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(ホームページ) <https://genryunosato-ute.com/>
(インスタグラム) https://www.instagram.com/ute_fish_farm/

基本情報



【年齢】
39歳
【出身地】
東京都板橋区
【転出元】
東京都板橋区
【前職】
YouTuber/Webコンサル
【活動時期】
R3.8～

協力隊に応募したきっかけ

R3年の春、取材の仕事で初めて小豆島を訪問、土庄町に滞在。この取材で移住者、協力隊卒業生、地域の方々と交流する機会があり、自身の情報発信に関する実績やノウハウで地域の役に立てるかもしれないと感じる。1週間の滞在中に偶然見かけた移住者インタビューの記事内に締切間近の協力隊募集情報を見つけて応募に至る。（他にもいくつか理由があるので詳細は下記記事をご参照ください。）

▶海外から一時帰国した私が小豆島へ移住した7つの理由
<https://00m.in/mGVpL>

今後の抱負・任期後の目標

▶今後の抱負

地域おこし協力隊とは、「地域が持続可能になる方法を共に模索する存在」「地域に気付きを与える存在」「地域が多様性をもつための存在」この3つを指針にして行動しています。地域で頑張る人や魅力をSNSを始めとした各種媒体で発信しながら、土庄町の魅力を伝えていく所存です。

▶任期後の目標

構想中ですが、協力隊を経験できたからこそ見えた地域の課題を解決するビジネスに取り組む予定です。

活動内容

●親子向けオンライン食育&社会科見学イベント

全国の親子と地域の子どもを対象。魚食普及、漁師の仕事や地元漁協立ち上げの地魚ブランド小豆島島鯉の認知度拡大を目指した企画。Zoomを使い、料理家と一緒にハモのミンチでかまぼこを作り、調理の空き時間で漁港から活きたハモの様子を中継。参加者と漁師さんとの交流コーナーも設けた。

▶活動事例① <https://00m.in/MGGcK>



●学校給食の地場産物提供とYouTubeを使った漁業振興

町内の学校給食を担う給食センターが給食で地場産物を扱う際に協力隊としてコラボ。給食で食べるだけでなく漁師の仕事も知ってもらおうと底曳き網漁を取材、動画に。小中学校に導入されているICTを使って動画視聴、タブレットで質問を募集。給食中に漁港からYouTubeライブで中継。中学校と漁協の協力を得て、活きたハモの力強さと質問への回答を生放送。▶活動事例② <https://00m.in/vkdrm>



●漁師による魚礁設置と調査を県水産課協力のもと発信

瀬戸内海の漁獲量減少に悩む地元漁師らが漁業活動と並行し海の環境改善に取り組む活動の魚礁の設置、その後の香川県による水中ドローン調査、などを数ヶ月かけて同行取材。魚礁の設置、数ヶ月後に魚礁にタコを確認、魚礁付近で産卵期のタコ放流など、地元漁師の一連の活動を動画などで発信。

▶活動事例③ <https://00m.in/8BBWp>



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(電話番号) 土庄町役場 農林水産課 0879-62-7007

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(note) <https://note.com/sayulog/>

(Instagram) @tonosho_tiikiokoshi / Facebook @tonosho.kyoryokutai

基本情報



【年 齢】
26歳
【出身地】
長崎県 長崎市
【転出元】
長崎県 長崎市
【前 職】
学生
【活動時期】
R3.4～ R6.3
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

対馬の水産業のパワー、そして海産物の美味しさに心を打たれ移住しました。

対馬の豊かな海も近年では磯焼けの問題が深刻化しており、その改善や基礎的調査に少しでも協力できればと思っています。

今後の抱負・任期後の目標

残存する藻場の調査地点を拡充するとともに、対馬の漁法を紹介する動画や過去の藻場についての聞き取り等を進めていきたいです。

また、アマモ水槽で普及啓発活動と併せて、地域の教育機関と連携し、磯の生物観察会や移動水族館等で、子どもたちが自然を身近に感じられる機会を設けていきたいです。

活動内容

●藻場の基礎的な生物調査

島内のどこにどんな海藻があるか(あったか)を調べています。また、潮下帯での生物調査や潜水調査で採取した海藻を乾燥標本にすることで、学術的資料としても活用が期待できます。



●定置網の漁獲物(未利用魚)調査

未利用魚の漁獲状況調査のため、島内の2つの定置網事業者の漁に同行し、漁獲魚種の記録をしています。水揚げされない未利用魚や小型魚についてもデータを収集することで、当該海域における出現魚種のより詳細なデータ化を目指しています。



●海の魅力発信関連

対馬で減少している海草「アマモ」の認知度向上・普及啓発のため、対馬市役所庁舎内において水槽を設置しています。アマモに加えて、アマモ場に住む生物を展示し、解説パネルを設置することで、市民の方の学びの場となるよう努めています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(電話番号) 0920-53-6111(代)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

Instagram : shimasui_tsushima (しますい_大きな対馬の小さな水族館)
https://www.instagram.com/shimasui_tsushima/

基本情報



【年齢】
34歳
【出身地】
佐賀県
【転出元】
福岡県
【活動時期】
R2.3～

協力隊に応募したきっかけ

上五島の海や手つかずの自然環境に惹かれ、以前より興味のあった水産業を学びながら地域の課題解決ができればと思い応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

鮮魚流通や藻類養殖の分野で六次化できればと考えます。島の魅力のひとつである水産業を知って頂くきっかけ作りの為に、観光の方とも結びつけられたらと考えます。

活動内容

●漁協各種業務及び定置網による操業業務

- ・漁協一般業務
有川町漁協内で生産者が水揚げした鮮魚の荷捌き。漁協本所事務所内で、漁船登録、漁船保険、各種官公庁提出書類作成などの事務作業
- ・漁協の自営定置網による操業業務



●国、県等の支援事業を活用して実施する各種取組

- ・有川地区漁業集落事業内で実施しているあおさの養殖に関する生育研究や実施サポート。六次化に向けた実地研修の実施。
- ・藻場再生活動として、海草アマモの増殖に関する研究や、他漁協や小学校などへ種子の提供、生育に関するアドバイスの実施。



●水産物及び水産加工物の付加価値向上のための新たな技術の導入支援やPR活動

- ・有川町漁協に水揚げされる水産物のオンライン販売や、町ふるさと納税返礼品として伊勢海老、鮮魚などの水産商品の施工や販売の実施。
- ・体験型イベントの実施。お魚捌き体験、あおさの摘み取り体験、ビーチクリーン、海草アマモの採取や植え込みなど



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) h.kajiyama@arikawa-fish.net
(電話番号) 0959-42-0019 有川町漁協本所

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(Instagram) https://www.instagram.com/chioko_snkm/
(Facebook) <https://www.facebook.com/kami510chioko>

基本情報

【年齢】
28歳
【出身地】
兵庫県 伊丹市
【転出元】
福岡県 福岡市
【前職】
会社員（営業職）
【活動時期】
R3.4～



協力隊に応募したきっかけ

趣味の釣りで五島列島に何度も訪れる中で、地方への移住・離島での生活に興味があり、地域おこし協力隊の募集があったので応募をした。

今後の抱負・任期後の目標

任期中では、情報発信、自身のアウトドア経験を活かしたイベントを実施していきたい。
所属している漁協の加工品や鮮魚の販路を拡大していくような取り組みを通して五島の魚の魅力を広める。
任期終了後は、町内または周辺地域への定住を目指して残りの任期で人脈形成をしていく。

活動内容

●海の安全講習会

町民の海での安全意識の向上と海での事故防止の必要性を感じてイベントを計画。
佐世保市のアウトドアショップ「ATEISM」とライフジャケットメーカー「高階救命器具」の協力をいただき、7月に北魚目小学校の生徒・保護者・教員に向けてライフジャケットの講習会を実施。



●漁協の加工品をふるさと納税で販売

派遣先の漁協では、あごだしの加工品を製造・販売をしているが電話とFAXのみの販売がメインで販路の拡大ができていなかった。
新しい販路・ネットでの受注のスタートとしてふるさと納税の返礼品として販売を開始した。



●情報発信

長崎県のWEBメディア「ながさーち」で新上五島町の情報を発信。
趣味である釣りを活かして釣り雑誌「釣りファン」に新上五島町での釣りを紹介した記事を投稿。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(Instagram) https://www.instagram.com/chioko_snkm/
(Facebook) <https://www.facebook.com/kami510chioko>

基本情報



【年 齢】
43歳
【出身地】
福岡県柳川市
【転出元】
千葉県市川市
【前 職】
会社員（不動産管理）
【活動時期】
R4.1～

協力隊に応募したきっかけ

数年前にプライベートで転職となる事があり、元々勤めていた業界、業種とは違う業種の仕事に挑戦してみたいと思う様になりました。

農林水産業に興味があり、ある程度、都心であればこういう業種、地方ではこういう業種、という想定で転職活動をしました。その中で新上五島町、上五島町漁業協同組合のお話をうかがえる事になり、採用して頂きました。

実は私は募集要綱に記載の年齢を超えていましたが、ご相談させて頂き、その後採用して頂いて感謝しています。

今後の抱負・任期後の目標

右に記載の活動に関して、宣伝、広報、PRという部分がまだまだ足りていないと感じています。

とにかく今は宣伝！広報！PR！！を意識して行動したいと考えております。

活動内容

●広報

新上五島町の美味しい魚介類が、まだまだ知られておらず売り逃しがある様に感じております。

ホームページの改善や、島外の料理店、居酒屋、販売店との連携、販売方法の変更などにより認知度、反響、売上、利益アップを目指します。



●釣り文化振興モデル港

所属する上五島町漁業協同組合が青方港を管理しており、国土交通省が指定するモデル港に指定されています。

2022年10月にオープニングセレモニーを催し、これから一般客を招き入れるところです。こちらの運営、広報、集客等を行います。



●その他

「水産業と観光業の連携事業」が私の地域おこし協力隊としてのミッションとなっております。

余り既成の枠に捉われず、事業者さん、学生さん、個人的にアイデアをお持ちの方たちと連携して町や漁協にメリットをもたらせる事を考え、実行していきたいと思っております。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(Instagram) https://www.instagram.com/chioko_snkm/

(Facebook) <https://www.facebook.com/kami510chioko>